

# 環境

アデランスグループは、CO2 排出量などの環境負荷の削減を企業の社会的責任の一つと考え、商品の環境対応や、事業所でのCO2 排出量の削減など、環境への取り組みを進めています

## ●環境に対する考え方

この地球の恵みの一つである自然環境は急速に失われつつあり、次の世代への継承が危ぶまれる今、地球の恵みに感謝し、保全しながら事業を営むことは、企業のあるべき姿だと考えます。アデランスグループでは、「生物多様性の保全(自然環境の保全)」と「CO2削減」「省資源」の3つを目指して、取り組んでいます。

## ●主な取り組み

開始時期	活動内容	実施会社
1999年	タイ工場のISO14001の取得	ATL, WQC
2002年	グリーンAD フィッター	AD
2006年	節水用シャワーヘッドの導入	AD
2009年	フォンテーヌの森 植林活動	AD
2011年	店舗等での節電に関する対応	AD
2013年	ウィッグの廃棄やリサイクルの新たな取り組み	AD
-	Bosley Protects the Environmnet:近隣地の植林ボランティアへの参加	Bosley
-	ウィッグ製作時の廃材売却代金を活用した植樹活動	ATL

## ●取り組み内容の概要

(ライフサイクル全体での商品の環境対応)

・環境にやさしい「グリーンAD フィッター」

当社は、オーダーメイドウィッグを作製する際に、お客様の頭の形と自然な髪の毛の流れを再現できる、「グリーンAD フィッター」と呼ばれる特殊樹脂製品を使用しております。

このフィッターは、生分解性と安全性が一定基準以上にあることが確認されたプラスチックを使用し、2002年9月に日本バイオプラスチック協会のグリーンプラマーク取得製品リストに登録されました。(登録No.301)

アデランスグループは、環境にやさしい素材の導入に取り組み続けて参ります

(店舗・オフィスでの環境対応)

・節水用シャワーヘッドの導入

当社では、理美容技術を提供する営業店舗に節水用シャワーヘッドを導入し、水道水の節水や温水化するためのCO2削減に効果を発揮しております。

一般的なシャワーと比べ50%程度の節水が可能となるだけでなく、カートリッジにビタミンCを入れることで塩素除去につながり、お客様の頭皮に優しく、従業員の手荒れ防止にも役立っております。

現在、全国160店以上の店舗に導入して、大きな節水効果以外に、洗浄時間の短縮が可能となりました。

・店舗等での節電に関する対応

当社は、先般の東日本大震災の発生による、全国的な電力量不足への対応のため、国内全社一丸となって、より一層のエネルギー節減に取り組み、照明間引き点灯、空調運転時間の調整、店舗以外のオフィスでのクールビズなどの節電活動に努めております。

また、節電を呼びかけるポスターを随所に掲示し、昼休み一斉消灯、不在エリアの消灯等を広く社員に呼びかけ、グループを挙げての節電活動に取り組んでおります。

## ● 取り組み内容の概要

(生産工場での環境対応)

## ・タイ工場におけるISO14001の取得

アデランスグループの生産拠点であるタイ工場において1999年、ISO14001(国際環境管理規格)を認証取得しました。ISO14001は地球環境保全活動の認証資格であり、環境保全の取り組みとして、以下の活動を継続して実施しております。

1. 工場排水による水質汚染の防止
2. 工場内における空気汚染の防止
3. 産業廃棄物の安全処理
4. 有資源の効果的使用
5. 工場内の労働環境改善

## ・タイ工場での廃材の効果的使用

ウィッグ製作時に発生する廃材を、資源の無駄をなくし有効活用できないかと考え、造花、車拭きやクッション、サンダルなど多種多様な試作に取り組んでいます。造花については現在、現地での定年退職者への花束贈呈等に利用しています。

## ● 取り組み内容の概要

(植林活動)

・植林を結ぶエコサイクル「フォンテーヌ 緑の森キャンペーン」

アデランスグループは、2009年よりウィッグの回収に応じた植林プログラムを「フォンテーヌ 緑の森キャンペーン」と称し、環境コミュニケーション企業である「ツバルの森」を通じ、国内の山間部に木を植える活動を行っています。同キャンペーンでは、当社がウィッグを回収し、それらを責任を持って廃棄処理を行うことで、環境負荷の低減にもつながります。

現在5年目を迎え、累計550本の植林実績を残しております。

年度	植林本数
2009年	65本
2010年	225本
2011年	40本
2012年	75本
2013年	150本
計	555本

・タイ工場の廃材売却代金を活用した植林活動

ウィッグ製作時に生じる廃材をリサイクル業者へ売却し、その代金で工場地内に植林を行っています。

・ボズレー植林ボランティア

## ●マテリアルバランス

オフィス・店舗(日本国内) 集計期間: 4月 ~ 翌年3月

			2011	2012	
Input	(エネルギー)	電気使用量	14,647 千 kWh	13,485 千 kWh	対前年比 ▲6.3%
		ガス使用量	34,668 m <sup>3</sup>	34,933 m <sup>3</sup>	対前年比 0.3%
		灯油使用量	1,612 ℓ	968 ℓ	対前年比 ▲40.0%
Output	(大気)	二酸化炭素 排出量	8,293 t-CO <sub>2</sub>	7,640 t-CO <sub>2</sub>	

工場(タイ工場) 集計期間: 2011年1月 ~ 2011年12月

			2011	2012	
Input	(エネルギー)	電気使用量	1,239 千 kWh	1,282 千 kWh	
		水使用量	10,049 m <sup>3</sup>	8,358 m <sup>3</sup>	
		軽油使用量	2,675 ℓ	2,450 ℓ	
(資材)	人工毛	52,291 kg	49,097 kg		
	人毛	3,011 kg	3,302 kg		
	NET	79,053 m	75,622 m		
	TAPE	1,264,764 m	1,343,090 m		
Output	(製品)	ウィッグ	419,858 ピース	354,224 ピース	
		ピース	218,080 ピース	212,543 ピース	
(廃棄物)	排水	10,049 m <sup>3</sup>	6,686 m <sup>3</sup>		